

定義・・・スイッチング電源の保護特性の一つで、あらかじめ設定された出力電流以上になった時、電流制限機能を持たせスイッチング電源や負荷を保護する機能。

Q・・・過電流とは？

A・・・定格電流以上流れた状態をいいます。

例

定格電流10Aに対して、10A以上電流を流している状態をいいます。

Q・・・電流制限機能とは？

A・・・電流制限回路を内蔵しないと、電流は定格電流以上流れます。

このため、電源の定格Wをオーバーすることになり、電源が故障します。

この故障により、負荷へ与える影響が大きくなります。

このような状況を回避するために、電流制限回路を内蔵する必要があります。

A・・・電流制限機能動作範囲

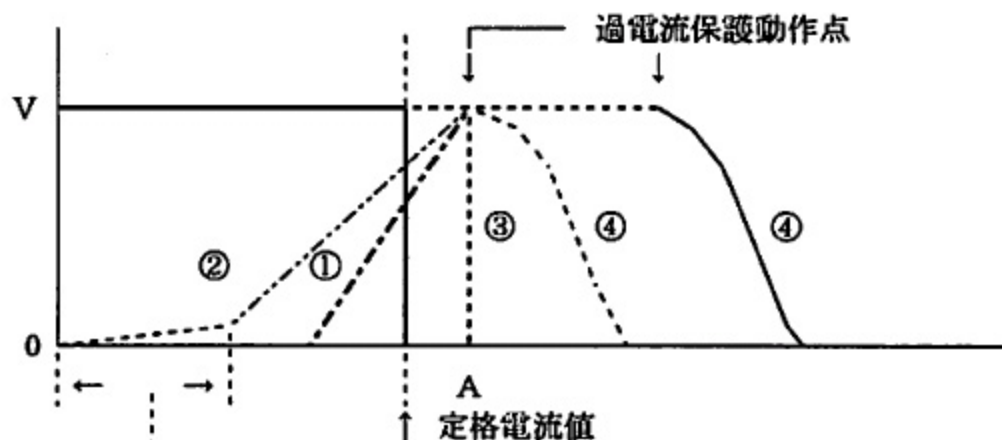
1. 定格電流値に対して、110, 120, 150, 200%等で動作する種類があります。

Q・・・電流制限機能は、どのような特性をもっているか？

A・・・主な特性は、下記の内容です。

- ① フの字特性
- ② フの字（間欠発振）特性
- ③ 定電流垂下特性
- ④ への字特性

★ 過電流保護回路の動作特性図の種類



この間を間欠発振状態といいます。

フの字の状態でも電流制限動作状態に入っている場合で、出力電圧がある電圧になりますと、その電圧とゼロの間を繰り返す状態となります。